

「第5期寝屋川市役所地球温暖化対策実行計画（素案）」への意見集約

「第5期寝屋川市役所地球温暖化対策実行計画（素案）」への意見記入欄

番号	ページ	意見箇所	意見内容	事務局回答
1	1ページ	1 背景（政府の目標）	寝屋川市役所等市の施設のCO2削減目標を設定する場合、政府の「地球温暖化対策計画（2021年10月閣議決定）」における部門別特に業務その他部門の目標（2030年度に2013年度比51%削減）が参考になるため、政府の部門別のCO2削減目標も背景の中で示すべき。別紙参照。	地球温暖化対策計画（2021年10月閣議決定）に記載の「自らの事務及び事業に関する措置」を追記します。
2	1ページ	1 背景	（11行目）「日本は」「日本は」…後ろの「日本は」は必要ないのでは？	ご指摘のとおり修正いたします。
3	2ページ	2 基本事項 （3）対象とするガス	CO2、CH4、N2O、HFCsの排出削減を市民に呼びかけます。自分も実行します。	貴重な意見として賜ります。
4	2ページ	目的の1行目 地球温暖化対策の推進に関する法律第21条の規定	説明が必要なかなと思う	ご指摘にあわせ説明を追記いたします。
5	2ページ	対象とする温室効果ガス	温室効果ガスは以下の7種類とありますが、7種類の語句は分かりますが、内容が分かりにくいので、①～④の発生源はP4に記載、⑤～⑦の発生源は何かを記載した方が分かりやすく思う	ご指摘にあわせ説明を追記いたします。
6	5ページ	都市ガスのCO2排出係数	大阪ガスの係数を使用するとあるが、大阪ガスのCO2排出係数は、「2.29kg-CO2/m2N」である。別紙「大阪ガスの都市ガスの性状」参照。	都市ガスにつきましても、「地球温暖化対策の推進に関する法律施行令」第3条（別表第一）の記載に改め、記載方法を修正します。
7	6ページ	3 温室効果ガスの排出状況 （1）温室効果ガス排出量の算出方法 ②非エネルギー起源二酸化炭素 ●一般廃棄物の焼却（第1号ニ）	本文中 ～二酸化炭素が排出されます。地球温暖化対策の～ の囲みが前のす。迄入っている	ご指摘の内容に修正します。
8	13ページ	3 温室効果ガスの排出状況 （2）これまでの取組と温室効果ガス排出量 図3-4	本グラフは、主な施設別の排出量のグラフですが、題名が「主な施設の活動区分別温室効果ガス排出量」となっております。グラフを活動区分別に細分化されるか、グラフ名を変更されてはいかがでしょうか。	ご指摘のとおり修正いたします。
9	16ページ	表3-16	家庭系ごみ、事業系ごみの単位は？	ご指摘のとおり修正いたします。
10	18ページ	3 温室効果ガスの排出状況 （3）温室効果ガス排出量の増減要因	廃棄物の焼却により発生する温室効果ガス要因を「プラスチック類の割合の増加」とされておりますが、ごみの総量が記載されていけませんので理解しにくいです。プラスチックの量を把握されているのであれば、その量で比較された方がわかりやすいと思います。	一般廃棄物の排出量や目標値を記載した表を追記するとともに、当該箇所に「該当ページを参照」を追記します。
11	19ページ	4 温室効果ガス排出量の削減目標 （2）温室効果ガス排出量の削減目標	理解不足で申し訳ございませんが、なぜ、目標を「40%以上削減」としたのか疑問に感じます。	ご指摘の目標値につきましては、国や府の目標値と整合を図り、見直す方向で検討します。
12	19ページ	2030年度の温室効果ガス排出量削減目標	「第3次寝屋川市環境基本計画」は、2021年3月に策定し、2030年度の温室効果ガスの排出量の削減目標を2013年度比「32.2%」と設定した。その後、2021年4月の気候変動サミットで、菅首相（当時）は、2030年度の温室効果ガスの排出量削減目標を2013年度比「46%」と表明した。また、2021年10月に閣議決定された「地球温暖化対策計画」にも同様の目標が掲げられており、状況が大きく変わっている。従って、この「寝屋川市役所地球温暖化対策実行計画」においては、少なくとも大阪府の目標である「45%」に引き上げるべき。国の目標である「50%」まで、引き上げれば良いのだが。	ご指摘の目標値につきましては、国や府の目標値と整合を図り、見直す方向で検討します。
13	19ページ	4.（2）の1行目	文章に主語がなく、体言止めで終わっているため、句読点をつけて文章にしてほしい。 例：寝屋川市は ～ 削減を目標とする。	ご指摘の内容に修正します。

番号	ページ	意見箇所	意見内容	事務局回答																																																							
14	19ページ	目標	<p>●目標設定については、地方公共団体実行計画（事務事業編）策定・実施マニュアル（本編）（Ver1.2）（https://www.env.go.jp/policy/local_keikaku/data/jimu_manual_202103.pdf）を参考に、4. 事務事業編プラン（99ページ 表4-3-5）をベースにされていると思うが、令和3年10月22日閣議決定された「地球温暖化対策計画」（http://www.env.go.jp/earth/ondanka/keikaku/211022.html）を参考に、新たな目標値目標値を再度見直す必要があると考える。新しい目標設定は以下の通り、（http://www.env.go.jp/earth/211022/mat02.pdf 参照）</p> <p>地球温暖化対策計画の改定について</p> <p>■地球温暖化対策推進法に基づく政府の総合計画</p> <p>2050年カーボンニュートラル宣言、2030年度46%削減目標*等の実現に向け、計画を改定。</p> <p><small>*我が国の中期目標として、2030年度において、温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目標とする。さらに、50%の高みに向け、挑戦を続けていく。</small></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>温室効果ガス排出量・吸収量 (単位: 億t-CO₂)</th> <th>2013排出実績</th> <th>2030排出量</th> <th>削減率</th> <th>従来目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エネルギー起源CO₂</td> <td>14.08</td> <td>7.60</td> <td>▲46%</td> <td>▲26%</td> </tr> <tr> <td>産業</td> <td>4.63</td> <td>2.89</td> <td>▲38%</td> <td>▲7%</td> </tr> <tr> <td>業務その他</td> <td>2.38</td> <td>1.16</td> <td>▲51%</td> <td>▲40%</td> </tr> <tr> <td>家庭</td> <td>2.08</td> <td>0.70</td> <td>▲66%</td> <td>▲39%</td> </tr> <tr> <td>運輸</td> <td>2.24</td> <td>1.46</td> <td>▲35%</td> <td>▲27%</td> </tr> <tr> <td>エネルギー転換</td> <td>1.06</td> <td>0.56</td> <td>▲47%</td> <td>▲27%</td> </tr> <tr> <td>非エネルギー起源CO₂、メタン、N₂O</td> <td>1.34</td> <td>1.15</td> <td>▲14%</td> <td>▲8%</td> </tr> <tr> <td>HFC等4ガス（フロン類）</td> <td>0.39</td> <td>0.22</td> <td>▲44%</td> <td>▲25%</td> </tr> <tr> <td>吸収源</td> <td>-</td> <td>▲0.48</td> <td>-</td> <td>(▲0.37億t-CO₂)</td> </tr> <tr> <td>二国間クレジット制度（JCM）</td> <td colspan="2">官民連携で2030年度までの累積で1億t-CO₂程度の国際的な排出削減・吸収量を目指す。我が国として獲得したクレジットを我が国のNDC達成のために適切にカウントする。</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	温室効果ガス排出量・吸収量 (単位: 億t-CO ₂)	2013排出実績	2030排出量	削減率	従来目標	エネルギー起源CO ₂	14.08	7.60	▲46%	▲26%	産業	4.63	2.89	▲38%	▲7%	業務その他	2.38	1.16	▲51%	▲40%	家庭	2.08	0.70	▲66%	▲39%	運輸	2.24	1.46	▲35%	▲27%	エネルギー転換	1.06	0.56	▲47%	▲27%	非エネルギー起源CO ₂ 、メタン、N ₂ O	1.34	1.15	▲14%	▲8%	HFC等4ガス（フロン類）	0.39	0.22	▲44%	▲25%	吸収源	-	▲0.48	-	(▲0.37億t-CO ₂)	二国間クレジット制度（JCM）	官民連携で2030年度までの累積で1億t-CO ₂ 程度の国際的な排出削減・吸収量を目指す。我が国として獲得したクレジットを我が国のNDC達成のために適切にカウントする。		-	-	<p>ご指摘の目標値につきましては、国や府の目標値と整合を図り、見直す方向で検討します。</p>
温室効果ガス排出量・吸収量 (単位: 億t-CO ₂)	2013排出実績	2030排出量	削減率	従来目標																																																							
エネルギー起源CO ₂	14.08	7.60	▲46%	▲26%																																																							
産業	4.63	2.89	▲38%	▲7%																																																							
業務その他	2.38	1.16	▲51%	▲40%																																																							
家庭	2.08	0.70	▲66%	▲39%																																																							
運輸	2.24	1.46	▲35%	▲27%																																																							
エネルギー転換	1.06	0.56	▲47%	▲27%																																																							
非エネルギー起源CO ₂ 、メタン、N ₂ O	1.34	1.15	▲14%	▲8%																																																							
HFC等4ガス（フロン類）	0.39	0.22	▲44%	▲25%																																																							
吸収源	-	▲0.48	-	(▲0.37億t-CO ₂)																																																							
二国間クレジット制度（JCM）	官民連携で2030年度までの累積で1億t-CO ₂ 程度の国際的な排出削減・吸収量を目指す。我が国として獲得したクレジットを我が国のNDC達成のために適切にカウントする。		-	-																																																							
15	19ページ	(1) 目標設定の考え方	<p>大阪府の「ふちょう温室効果ガス削減アクションプラン（2021年3月策定）」の基本保身・目標設定の考え方の中で、「2050年より前に二酸化炭素排出量実質ゼロ達成をめざして府庁自らが率先して取り組む」と示されており、寝屋川市も事務事業編で2050年ゼロカーボンを示すべき。</p>	<p>第3次寝屋川市環境基本計画並びに第2次寝屋川市地球温暖化地域計画にも「2050年実質ゼロ」を記載していますが、事務事業における「実質ゼロ」は困難であるため、市域の目標としての記載するよう検討します。</p>																																																							
16	19ページ	2030年度の温室効果ガス排出量削減目標	<p>NO12の欄で、今回の素案の目標である40%を45%に、できれば50%に引き上げと記載したが、政府の地球温暖化対策計画の業務その他部門の目標である50%にすべきと修正する。「地方公共団体実行計画（事務事業編）策定・実施マニュアル（本編）ver 1.2」においても「地球温暖化対策計画の40%（当時。昨年10月の改定で、51%に引き上げ）を事務事業編の目標として掲げることも考えられる」と示されている。政府の事務事業での排出削減目標も50%となっている。</p>	<p>ご指摘の目標値につきましては、国や府の目標値と整合を図り、見直す方向で検討します。</p>																																																							
17	20ページ	目標達成に向けた取り組み	<p>P18までに記載してきたデータを受け取る形で、今後の目標数値を設定する必要がある。この数値については、P19で記載した国が求める基準との整合性が求められる。</p>	<p>ご指摘の目標値につきましては、国や府の目標値と整合を図り、見直す方向で検討します。</p>																																																							
18	20ページ	目標達成に向けた取り組み	<p>誰がいつまでに何をどのような形で実施して、何%もしくは何トンのCO₂を削減するのかという内容が必要である。進捗状況のチェックで○、×が明らかになる形での数字の管理が重要となる。そのことによって、P19で設定した目標全体が達成できるように調整する数値目標が求められます。</p>	<p>進捗管理については、今後の課題と認識しており、P21に記載のとおり、各施設における省エネのポイントを周知するよう努めるとともに、各施設からの集計値より、電力や都市ガスなど、目標の達成状況を把握するようにしてまいります。</p>																																																							
19	20ページ	図5-1、表5-1	<p>SDGsの1から17までのマークの中の文字が読める位の大きさにする</p>	<p>ご指摘のとおり修正いたします。</p>																																																							
20	20ページ	市の取り組み全般	<p>以下についてご検討ください</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の新設・建替え時における府内産木材の積極的利用 ・街路樹や公園内の緑の保全・拡大、適切な維持管理 	<p>今後、グリーン調達方針を改定する際には、他市の事例等を参考するなど、調査・研究してまいります。</p>																																																							
21	20ページ	5. 目標達成に向けた取り組み	<p>別冊『第4期～改訂版』の第3章（P4～8）に掲載されているような形式で、「取組項目」の表を追記してほしい。</p>	<p>ご指摘のとおり、No.22と併せて「取組項目」について記載を改めるとともに、表のレイアウトを修正します。</p>																																																							
22	20ページ	5. 目標達成に向けた取り組み	<p>とくにP23からは全てが図表のような表現となっており読みづらい（伝わりづらい）。おそらく「■省エネ行動例」「■ごみ減量と分別」などのように「■」が付けられている小見出しの表が、別冊第4期の第3章でいうところの「取組項目」の表に相当すると思うが、第5期では「取組例」や「参考」も枠で囲われており、読み手に伝わりづらい。</p> <p>また、P23～28に至るまで表と枠囲いのみで文章がないため読みづらいと思うので、表を説明するための文章をきちんと追記すると良い。</p>	<p>ご指摘のとおり、表を説明する文章を追記するとともに、「取組項目」として記載を改めます。</p>																																																							

番号	ページ	意見箇所	意見内容	事務局回答
23	20ページ	5. 目標達成に向けた取り組み	「取組例」や「参考」についている※印が、有る場合と無い場合が混在していて読みづらい。 ※印は「用語の説明」と変更し、取組例は「具体例」と変更し、別々の扱いにしたほうが良い。「参考」というタイトルは削除し「用語の説明」だけで良いのでは。	ご指摘の内容に修正します。
24	21ページ	5 目標達成に向けた取組 (2) 取組の個別方針	「燃料に占める都市ガスの使用によるCO2排出量が多い状況」との記載がありますが、都市ガスの使用による排出量のデータが記載されていないと思われます。「3 温室効果ガスの排出状況」のところで記載されてはいかがでしょうか。	都市ガスの使用量を記載した該当ページを参照として追記します。
25	22ページ	5 目標達成に向けた取組 (2) 取組の個別指針 ②非エネルギー起源CO2の削減（ごみ減量等）	ごみの減量・分別への協力を地域の方に伝え、自分も実行します。	貴重な意見として賜ります。
26	22ページ	非エネルギー起源CO2の削減	P21の寝屋川市の事務事業における温室効果ガスの内、非エネルギー起源のCO2は、全体の約2/3を占めており、この部分の削減が大きな課題である。「寝屋川市一般廃棄物処理計画」において、2030年度のごみ総排出量を2013年度と比較して、約17%削減となっており、この目標では、「40%」あるいは「45%」の達成は無理である。市の施設における「クリーンセンター」からのCO2排出量は、全体の「69%」もあるが、クリーンセンターの対策が記載されていない。この施設のCO2削減が大きな課題であり、目標達成に向けた更なる施策が必要である。例えば、ごみ発電の効率を上げる、排熱を有効利用する等。	ご指摘のとおり、本市のCO2排出の大部分は、非エネルギー起源CO2であるため、ごみ処理に関する取組については、一般廃棄物処理基本計画を整合を図るとともに、記載を改めます。
27	22ページ	図5-3	文字がはっきり読める位の大きさにする	ご指摘の内容も踏まえ、図を削除し、一般廃棄物処理基本計画の目標値の記載に改めます。
28	23ページ	5 目標達成に向けた取組 (3) 具体的な取組内容 取組例グリーンカーテン	緑の植物で直射日光を防ぐ、協力を地域の方に伝え、自分も実行します。	貴重な意見として賜ります。
29	23ページ	省エネ行動例について	取組例としてグリーンカーテンが挙げられていますが、建物を冷やすこと以外に、園庭や校庭に日除けネットを設置するなど、屋外での対応も希望します。昨年夏、娘の通う幼稚園では、園庭で遊べない日が続きました。連日、熱中症アラートが出ていたために、子どもたちは空調の効いた室内で遊ぶしかなかったのです。幼稚園や保育所に日除けネットがあれば（藤棚でもいいのかもしれませんが）、順番にでも子どもたちは屋外で遊べますし、エアコンの使用頻度も抑えられるかもしれません（30分程度部屋を離れるだけであれば空調は切らずにいたほうが電力消費量は少ないそうですが）。	建物外の気温については、令和3年11月に策定いたしました、第2次寝屋川市地球温暖化地域計画において、「適応策」を記載しており、計画に沿った取り組みを引き続き進めてまいります。
30	23ページ	5 目標達成に向けた取組 (3) 具体的な取組内容	どれも大切な対策計画	貴重な意見として賜ります。
31	24ページ	エコドライブ	「第2次寝屋川市地球温暖化対策地域計画」では、エコドライブの項では、「エコドライブ10のすすめ」が掲載されており、ここでも同様の掲載が良いのではないかと。	ご指摘の内容に修正します。
32	24ページ	参考	この中の小さい字がはっきり読める大きさにする	スマートムーブの記載は、他の委員からの指摘（No.31参照）を踏まえ見直しを図り、ご指摘を踏まえて当該参考については削除いたします。
33	25ページ	5 目標達成に向けた取組 (3) 具体的な取組内容	用紙の使用量に関してのアイデアですが、文書の電子化や電子決裁なども検討されてはいかがでしょうか。	本市において、電子決裁を導入しており、「会議システム等」として記載しております。今後も引き続き用紙削減に努めてまいります。

番号	ページ	意見箇所	意見内容	事務局回答
34	25ページ	ごみ減量と分別の表の中の「用紙使用料」	P23の具体的な取組内容の①では、「省エネ行動」、「エコドライブ」、「ごみ減量と分別」、「用紙の使用」の4項目が掲げられており、P25の表から「用紙」部分を抜き出し、別項目として取組内容を記載した方が、P23と整合が取れるのではないかと。	ご指摘の内容に修正します。
35	25ページ	ごみ減量と分別について	小学校での雑がみ回収事業を、市立幼稚園でも実施することはできないでしょうか。 先日、5歳の娘と『マイクロプラスチックストーリー』という映画を鑑賞したのですが、娘はこちらの予想以上に内容を理解し、鑑賞後には紙と鉛筆を取り出して「ごみをへらそう」という標語とプラスチックが分解されていく様子を描いたイラスト入りのポスターを作り始めました。小学校での雑がみ回収事業に一定の効果が出ているのであれば（効果については知りたいところです。回収量もそうですが、子どもたちや保護者さんの気持ちに変化があったのかについて）、市立幼稚園でも効果があるかもしれません。もちろん、園の先生方のご負担にならなければ、ですが。 （「ごみ回収」ではありませんが、娘の通う幼稚園では、各家庭から不要な包装紙を集めて工作に使っています。この頃は「包装紙」自体が減っているのですけれども）	雑がみペットボトルキャップ回収事業については、市立小中学校で実施しており、現状において、幼稚園への拡大は困難ですが、事業は継続する予定ですので、小学校へ入学した際は、ご協力をお願いしてまいります。
36	25ページ	取組例 3 フードドライブ	フードドライブについての記載がありますが、フードドライブそのものの言葉の説明がないので、具体的な内容の説明（各家庭で使い切れない未使用食品を持ち寄り、団体に寄贈する活動）と、また実際の子ども食堂の活動写真を入れることにより、もっと関心を持ってもらえるのではないかと思います。	フードドライブの記載部分について、注釈を加え、より分かりやすい記載に改めます。
37	25ページ	取組例 雑がみの回収（分別）	小中学校における雑紙回収事業で小中学生の時から分別習慣を身につけるという取組はとても良いことだと思います。18歳成人を受けて中学校では金融リテラシーの授業が実施されるようになったと新聞で報道されていました。教科学習も大事ですが、様々なことに関心を持ち、積極的に実行しようとする取組は、子どもたちがこれからより良い大人として生きていくために大きな意味があると思います。みんなの協力で給食にゼリーがついたなど、活動を実感させてやればと思います。	ご意見を参考に、ごみ減量・分別については、温室効果ガスの削減を視野に入れた取組を一般廃棄物処理基本計画に沿って進めてまいります。
38	26ページ	5 目標達成に向けた取組 (3) 具体的な取組内容 取組例プラスチックゼロ宣言	協力を呼びかけます。	貴重な意見として賜ります。
39	26ページ	5 目標達成に向けた取組 (3) 具体的な取組内容 ②施設や設備、公用車等の運用改善 ・OA機器電化製品	自動販売機等の蛍光灯の消灯を検討する。 消灯時間とすれば	ご指摘の内容に修正します。
40	26ページ	プラスチックゴミゼロ宣言	「4R」の取組だけでは達成できないと思います。レジ袋は有料化されてだいぶ削減されたと思いますが、次は踏み込んでレジでレジ袋を出さないようにすればよい。ペットボトルの削減計画についても、市役所では職員にマイボトル持参を呼びかけているようですが、市民にも呼びかけてほしい。「スポーツゴミ拾い」の市民運動を展開するなどの活動や、環境保全活動に携わる人材の育成についても検討したいと思います。	ご意見を参考に、ごみ減量・分別については、温室効果ガスの削減を視野に入れた取組を一般廃棄物処理基本計画に沿って進めてまいります。また、人材の育成につきましては、「自然観察会」や「施設見学」等を通じて進めてまいります。
41	26ページ	取組例 平成31年3月	()で西暦を入れる 他にもあれば統一した方がよいと思う	ご指摘のとおり修正いたします。
42	27ページ	5 目標達成に向けた取組 (3) 具体的な取組内容 ③施設や設備等の更新・導入 ・公用車調達	P28 平成25年4月に「寝屋川グリーン調達方針」を策定し、環境物品等の調達を推進しています。と書かれていますが、25年以降どれぐらいのEco調達されているのか、又今後何台ぐらい市として予定されているのか？	エコカー（ハイブリッド車）については、現在17台であり、エコカーとともに、低公害車の導入も進めております。今後、グリーン調達方針の周知に引き続き進めてまいります。
43	27ページ	③施設や設備等の更新・導入（ハード対策）における「再エネ設備」	新築や改修時に再生可能エネルギー（太陽光等）の導入を検討するとあるが、新築や改修時ではなく、もっと積極的に、太陽光発電を設置するため、「施設の屋根にPPAを活用した太陽光発電設備の設置を検討する」としてはどうか。	ご指摘を踏まえて、記載内容を修正します。
44	27ページ	参考	この中の小さい字がはっきり読める大きさにする	ご指摘のとおり修正いたします。

番号	ページ	意見箇所	意見内容	事務局回答
45	28ページ	グリーン購入・グリーン契約等の推進について	グリーン購入に当たるかどうかはわかりませんが、「香害」を引き起こさない製品を購入・使用することも大切ではないかと思えます（「温暖化」とはすぐに結びつかないかもしれませんが、環境問題はぐるりとつながりあっていますよね）。私の知人にも何人か、化学物質過敏症のひとがおりますし、確か市の広報にも香害についての呼びかけが出ていましたね（記憶違いでしたらすみません）。香害を引き起こさない洗剤（合成界面活性剤が入っていないものや、易生分解性の洗剤がこれに当たると認識しています）は高価格であったり、購買ルートが限られていたりしますが、ぜひご検討ください。（余談ですが、〈環境にやさしい暮らし〉を実践しようとするひとのほとんどが一度は〈洗剤難民〉になるという話もあります。日々の暮らしの中で使えるものを探し、調達することはなかなかムズカシイです）	今後、グリーン調達方針を改定する際には、他市の事例等を参考するなど、調査・研究してまいります。
46	10ページ・21ページ・22ページ	(2)これまでの取り組みと温室効果ガス排出量5目標達成に向けた取組	温室効果ガス総排出量について、R元年度がH25年度に比して18.5%削減できたのはすばらしいです。この後10年余で更に40%以上の温室効果ガス削減が必要です。H28年度以降は順調に7%ずつ削減できており、この調子でいけば何とか達成できるように思えますが、この先コンスタントに3~4%の削減を可能にしていくためには具体的な絞った数値目標とその方法を掲げていかないと難しいのではないかと思います。特に家庭系可燃ごみに含まれるプラスチック類の焼却により多くのCO ₂ が排出されているのは、汚れたプラスチックごみは可燃ごみ扱いとなっていることによるのでしょうか。ついでに汚れていないものもポイポイ捨てて結果混ぜゴミになる実情は無視できないように思えます。大型店舗にもっと回収努力を要請する、回収にポイントなどお得感を付与するなど、市からの積極的な呼びかけと意識啓発を図る努力が必要と思えます。	ご指摘の部分につきましては、どのような取組がどれだけ効果があるかの記載をするなど、見直しをいたします。また、廃プラの分別につきましては、引き続き「一般廃棄物処理基本計画」に沿って進めてまいります。
47	19ページ	目標の設定および具体的な各部門別の行動と目標設定	また、目標に関しては、「第4期寝屋川市役所地球温暖化対策実行計画【改訂版】～地球温暖化防止とエコオフィスをめざして～」の目標数値についての達成データをもとに、継続して目標設定を行うかどうかについての言及が必要となる。「第4期寝屋川市役所地球温暖化対策実行計画【改訂版】～地球温暖化防止とエコオフィスをめざして～」実行計画そのものの構成をベースに全体的な目標設定を達成数値を入れこんで記載する必要がある。	目標設定については、素案では全体的な目標値のみを記載しておりますが、分野ごとの目標値を記載する等により、より具体的な内容となるよう改めます。
48	全体	目標達成に向けた取組のウエイト	全28ページの内、具体的な取り組み内容は、6ページと約2割しか記載されていない。この具体的な取り組み内容をもっと充実すべき。また、3章はもっとスリム化すべき。算出方法は、環境省の温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度におけるマニュアルに従って算出で良いのではないか。	3章につきましては、「温室効果ガス」の算定方法と本市の状況を分かりやすく多角的に記載しております。ご意見のとおり5章の今後の取組について、記載を改めます。
49	全体	内容	数値係数など専門的で難しい部分もありましたが、概ねよく編集されていると思えます。市役所も事業所として削減目標を立てて実行していくことが求められるのだということがわかりました。2018・2019年度のクリーンセンターのCO ₂ 排出量が新しい焼却施設でのごみ発電による効果で91%も削減されているのは素晴らしいです。スギ・ヒノキ413万本の吸収量に相当すると知って驚きました。ただ「目標達成に向けた取組」の部分が薄いのではないかと思います。	ご指摘の部分につきましては、目標達成に向けた個別の取組効果等を記載するなど、見直しをいたします。

番号	ページ	意見箇所	意見内容	事務局回答
50	全体		最初は専門的なことで、分かりにくい印象があったが、実施に向けて目標達成に向けた取組が一番大事と考えます。 また、後の進捗状況の確認においても重要であると考えます。	目標設定については、素案では全体的な目標値のみを記載しておりますが、分野ごとの目標値を記載する等により、より具体的な内容となるよう改めます。 また個別の進捗管理については、今後の課題と認識しており、P21に記載のとおり、各施設へにおける省エネのポイントを周知するよう努めるとともに、各施設からの集計値より、電力や都市ガスなど、目標の達成状況を把握するようにはしてまいります。
51	全体		あまり訂正するところがありません、満足です。	貴重な意見として賜ります。
52	全体		特に意見はありません	貴重な意見として賜ります。
53	全体		特に意見はありません	貴重な意見として賜ります。
54	全体		今回は付け加えたり削除したりの箇所はありませんでした。非常に良くできた実行計画案です。	貴重な意見として賜ります。